

RS ウイルス

潜伏期間 : 4～6日

発症 : 約 7～12日

特徴 : ・呼吸器症状がでる感染症
・生後 1 歳までに半数以上、2 歳までにほぼ 100%の乳幼児が感染する
・1 度かかっても十分な免疫が得られず何度もかかる可能性があるが徐々に症状が軽くなる
・大人は鼻炎程度の軽い風邪症状がみられる
・おもちゃなど物に付着したウイルスは 6 時間程度人にうつる力を持つ（翌日にはうつる力がないことになる）

症状 : ・発熱、鼻水等の風邪のような症状がでる
・ゼーゼーと息をして重症になると呼吸困難になる
・軽い風邪症状で済むことも多いが、乳児が感染した場合重症化しやすい

感染経路 : 飛沫感染、接触感染

予防 : 手洗い、うがい、マスク、身の回りの掃除・消毒

登園の目安 : 医師の判断で「呼吸器症状が消失して全身状態がよいこと」

・飛沫感染

感染している人が咳やくしゃみ、会話の際に、病原体が含まれた小さな水滴（飛沫）を口から飛ばし、それを近くににいる人が吸い込むことで感染する

・接触感染

ウイルスが付着したドアノブ、手すり、スイッチ、おもちゃ、コップなどに触れた手で自分の口や鼻、目を触ったりなめたりすることで感染する
（体についただけでは感染と合わない）

消毒について

- ・RS ウイルスは何の消毒薬も効く
《園ではアルコール、ピューラックス（水 3 リットルにピューラックスのキャップ 1 杯）》
- ・手の触れる場所、物は日頃から水拭きや洗浄など掃除をしておく
- ・汚れているもの（鼻水やよだれのついたもの）は掃除をしてから消毒する

参考資料：厚生労働省保育所における感染症対策ガイドライン、
国立感染症研究所、園の保健のしおり